

奈良県立美術館ギャラリー企画 奈良ゆかりの現代作家展

奈良県立美術館では無料スペースの一角に地域ゆかりのアートや文化、教育活動を紹介する目的でギャラリーを開設し、このたび、「奈良ゆかりの現代作家」を紹介する展覧会シリーズを開催することになりました。本展ではふたりの奈良ゆかりの現代作家を紹介します。

今西真也（1990年、奈良市生まれ・在住）は、パネルの上に油絵具を重ね分厚い層を作り、それをえぐるように絵筆で彫り出していく、絵画でありながら彫刻的な表情を見せる作品を制作しています。白という色彩が赤や黄の濃い色のうえに重ね合わされ、紗がかかったようなあわい濃淡によってあらわされる繊細な絵肌からは、日本美術における光の表現に通底する感性をうかがわせます。2015年に京都造形芸術大学大学院を修了し、その後は奈良を拠点に国内外のギャラリーやアートフェア等で発表する新進気鋭のアーティストです。

赤松加奈（1990年、奈良市生まれ、大和郡山市在住）は、家業である農業を営みながら、自然の風景から得られたインスピレーションを絵画作品にしている作家です。自然が見せる生命の力強さを彩り鮮やかな色彩で描き出した絵画世界からは、観る者に自然そのものの姿や自然と共にある人々の暮らしへの愛おしさを教えてくれます。2015年に京都造形芸術大学大学院を修了し、現在は奈良を拠点に地域での展覧会をはじめギャラリーやコンクールなどに出品しながら、美術講師として子どもたちの美術教育にも関わっています。

本展では、両者の新作を含む近年の代表作を個展形式で紹介します。会期中にはアーティストトークやシンポジウムなども開催します。奈良に生まれ育ったふたりの作家にとって、本展は初めての地元美術館での展覧会になります。地域で活動するアーティストの表現をぜひご覧ください。

- ・奈良ゆかりの現代作家展 01 今西真也 「吸って、吐いて」 2025年1月18日（土）～2月16日（日）
- ・奈良ゆかりの現代作家展 02 赤松加奈 「こんにちは、 」 2025年2月18日（火）～3月9日（日）

会場：奈良県立美術館ギャラリー 開館時間：9：00～17：00（入場は16：30まで）

休館日：月曜日（但し、2/24、3/3は開館）、2/25（火） 観覧料：無料

主催：奈良県立美術館 協賛：株式会社メルコグループ 協力：東洋アルミニウム株式会社

【関連イベント】

- ・アーティストトーク 01 今西真也 2月1日（土）14：00～15：30（13：30受付開始）
- ・アーティストトーク 02 赤松加奈 3月8日（土）14：00～15：30（13：30受付開始）
- ・シンポジウム「奈良で、生きて、表現する—奈良ゆかりの現代作家展をめぐって」

2月15日（土） 14：00～16：00（13：30受付開始）

講師：三瀬夏之介（画家・東北芸術工科大学教授）、今西真也、赤松加奈（出品作家）

司会：山本雅美（当館学芸課長）

※いずれのイベントも参加無料、会場は当館1階レクチャールーム（定員60名、予約不要、当日会場にお集まりください）

【担当連絡先】奈良県立美術館 学芸課長 山本雅美

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町10-6 Tel. 0742-23-3968 Fax. 0742-22-7032

e-mail: narakenbipress@office.pref.nara.lg.jp



《Holiday cracker 38》2024

奈良ゆかりの現代作家展 01
今西真也
「吸って、吐いて」

2025 年

1月18日(土)～2月16日(日)

プレス向け内覧会(作家在廊)

1月17日(金) 14:00～16:00

【作家メッセージ】

私は作品を通じて、東洋哲学の「縁起」や「因果」の考えに基づき、世界が常に変化し続ける様子を描いています。揺らぎや不確かさの中に、新たな可能性や再生の兆しを見出すことをテーマに制作を続けてきました。

今回の展示は、私が生まれ育ち、制作の軸が形作られた奈良での初個展です。奈良という歴史と現代が交錯する独特の文化と時間感覚を持つ場所で育まれた感性が、これまでの作品に大きな影響を与えています。

今回の展示が、私自身にとっても一つの節目となり、過去10年間の歩みを振り返る機会になればと思っています。ご覧になる方々にも、作品を通じて時間の経過を感じていただき、変化と再生のプロセスを共有できる展示になれば幸いです。



【作家プロフィール】

1990年奈良市生まれ、在住。2015年京都造形芸術大学大学院芸術表現専攻ペインティング領域修了。近年の展示に個展「SHINYA IMANISHI」(2024年、anonymousbuilding/東京)、anonymous art project「collective 2024」(OMOTESANDO CROSSING PARK/東京)、「2023年度新収蔵品展」(2024年、豊田市美術館)、個展「キラキラと曖昧」(2024年、nca|nichido contemporary art/東京)、個展「かー かー かー」(2021年、nca | nichido contemporary art/東京)などがある。anonymous collection AWARD受賞(2023年)、公益財団法人松浦芸術文化財団 令和4年度現代芸術家助成、シェル美術賞2020グランプリ受賞、第31回ホルベイン・スカラシップ奨学生(2016年)など。

作家HP : <https://shinyaimanishi.com>



《baby face》2024

奈良ゆかりの現代作家展 02

赤松加奈 「こんにちは、」

2025年2月18日(火)～3月9日(日)

プレスツアー(作家在廊) 2月17日(月) 16:00～17:00

【作家メッセージ】

病院の駐車場から見た東の山々が本当にきれいだった。

痺れと痛みで弱った夫と起きている間は体力100%の赤ちゃんのプロレス。

小さいけれど全身で夫にアタックをかます娘。容赦がない。

99歳で祖母が亡くなった。大往生。

突然のことで慌ただしい家。娘は毎日の訪問客に自分が主役だと思い大層楽しんだ。

四十九日までの法要。娘にとっては仏間に行ったら楽しいことがあるとインプットされたようだ。毎晩早く連れていけと要求する。

今年の夏は暑すぎて長すぎた。庭のサザンカが枯れてしまった。

畑ではいちじくが小さい実をたくさんつけた。

母は人生最大のピンチや…とつぶやき、

私はこの夏を“地獄の夏休み”と名づけた。

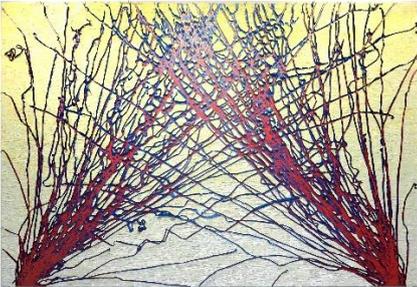
夏が終わりかけたころ、手をグーパーグーパーして、夫が農作業に出かけた。



【作家プロフィール】

1990年奈良市生まれ、大和郡山市在住。2015年京都造形芸術大学大学院 芸術表現専攻ペインティング領域修了。近年の展示に「Idemitsu Art Award アーティスト・セレクション 2024」(国立新美術館/東京)、個展「土の声を聞き、風とあそぶ」(2023年、NEUTRAL/京都)、個展「みんなの部屋」(2021年、喜多美術館/奈良)、「新世代への視点 2019 赤松加奈展」(コバヤシ画廊/東京)などがある。群馬青年ビエンナーレ 2019 大賞受賞、FACE2018 損保ジャパン日本興亜美術賞 審査員特別賞受賞、シェル美術賞 2018 入選など
作家HP：<https://www.kanaakamatsu.com>

広報用作品画像※掲載をご希望の方は番号でお知らせください。掲載の際には作品情報(太字)を掲載下さい。

1		今西真也 《Holiday cracker 38》 2024 145.5×112 cm 油彩／キャンバス anonymous art project 蔵
2		今西真也 《Holiday cracker 39》 2024 160×230 cm 油彩／キャンバス anonymous art project 蔵
3		今西真也 《Light 26》 2022 145.5×112 cm 油彩／キャンバス 個人蔵
4		赤松加奈 《baby face》 2024 145.5×97.5 cm アクリル／キャンバス、パネル 作家蔵
5		赤松加奈 《four fruits》 2024 130.3×162.1 cm アクリル／キャンバス、パネル 作家蔵
6		赤松加奈 《風にゆれる》 2023 91×218.1 cm アクリル／キャンバス、パネル 作家蔵